



Change, Challenge, Speed

56th BUSINESS REPORT

Spring

| 2015.02.01~2016.01.31 |

決算のご報告

菱洋エレクトロ株式会社

証券コード：8068

株主の皆様へ

当社第56期ビジネスレポート・春号をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。



代表取締役会長・CEO
小川 賢八郎

代表取締役社長・COO
大内 孝好

当期の概況

当連結会計年度（2015年2月1日～2016年1月31日）における国内経済は、中国の景気減速により先行き不透明感を強め、牽引役として期待されていた企業の設備投資にも先送りする動きが広がるなど、個人消費や輸出の回復ペースは力強さを欠くものとなりました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界は、年初から堅調に推移していた通信や産業関連が中国の景気減速とともに需要の落ち込みがみられたほか、ICT関連ではクラウド化による市場構造の変化が進行いたしました。

このような環境の中で当社グループは、半導体/デバイス分野とICT/ソリューション分野のコア事業の基盤強化と拡大に努めるとともに、双方の製品・サービスを融合させ、得意先の戦略実現・課題解決に貢献する高付加価値型ビジネスモデルの創出に注力してまいりました。また一方では、大型システム案件の失注等に伴い在庫廃棄損および在庫評価損を計上するに至りました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は1,123億32百万円（前期比2.0%増）となりましたが、営業利益は8億76百万円（前期比57.3%減）、経常利益は10億96百万円（前期比56.1%減）、当期純利益は7億43百万円（前期比55.9%減）となりました。

今後の取り組み

当社グループは、創立以来の経営理念である『時代に即して存在価値を深める』の下、「Change, Challenge, Speed」を行動指針として掲げ、「全てがつながるスマート社会」に感動を与えるソリューションパートナーになる」というビジョン実現に向けた各種施策を展開しております。

なかでも、コア事業である「半導体/デバイス」と「ICT/ソリューション」を融合させた高付加価値型ビジネスの展開は、技術進歩や規格整備によって普及に向けた環境が整いつつあるIoT市場での拡大が期待されます。昨年には「IoT推進プロジェクト」を立ち上げ、先進事例の積上げや横展開などの取り組みを加速させています。

当社グループは、顧客のIoT市場に対する戦略や課題を高次元で貢献する“IoTアプローチ”により企業価値の向上を目指してまいります。

株主還元について

当社は、配当および自己株式取得により当該年度の連結当期純利益に対する総還元性向を100%とすることを当面の株主還元の方針としております。

当事業年度における期末配当につきましては1株につき15円（中間配当と合わせた年間配当は30円）とさせていただきます。

次期の配当につきましては、中間配当金を普通配当15円に記念配当5円（会社設立55周年記念配）を上乗せして1株につき20円、期末配当金は普通配当15円を5円増配して1株につき20円とし、年間配当金につきましては1株につき40円の予定とさせていただく次第です。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年4月

中期的な取り組みにおける基本方針

IoTアプローチにより新たな強みを創造し顧客の価値向上に貢献する

基本戦略Ⅰ

IoTアプローチでコア事業を拡大

基本戦略Ⅲ

グローバル戦略の加速

基本戦略Ⅱ

成長分野への戦略的投資

基本戦略Ⅳ

持続的成長に向けた
事業基盤の強化

品目別売上高の概況

当期の売上高は1,123億32百万円(前期比2.0%増)となりました。

■ 半導体/デバイス

売上高は723億12百万円で、前期より41億67百万円(6.1%)増加しました。

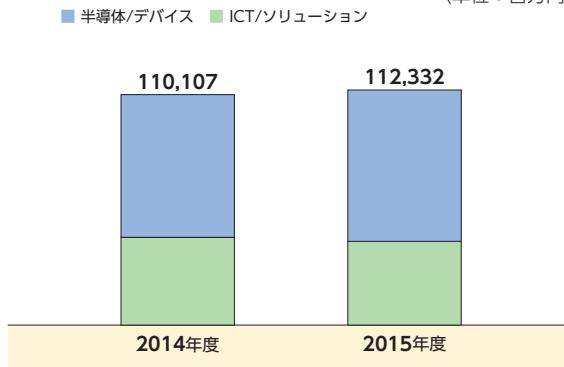
これは、通信機器向け液晶や産業機器向け半導体が増加したためです。

■ ICT/ソリューション

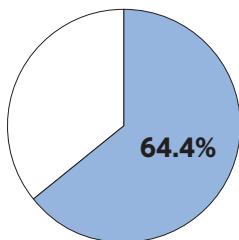
売上高は400億20百万円で、前期より19億42百万円(4.6%)減少しました。

これは、パソコン向けソフトウェアやサーバー製品を中心としたシステム案件が減少したためです。

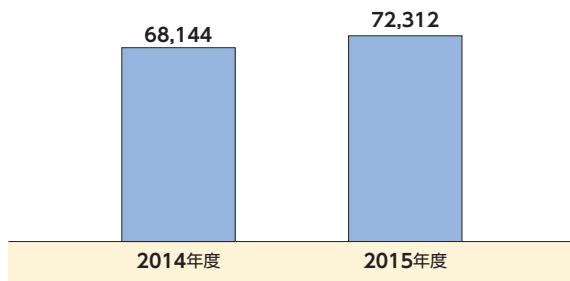
(単位：百万円)



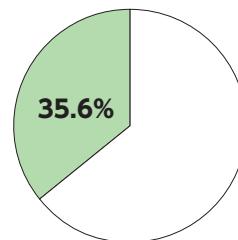
■ 半導体/デバイス



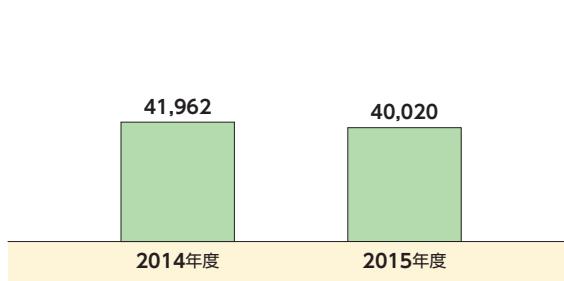
(単位：百万円)



■ ICT/ソリューション



(単位：百万円)



主要仕入先(半導体/デバイス)

仕入先名	Analog/MSIG	Logic	Memory	RF/Opto/ Power	EOL Product	Electronic Device
三菱電機				●		●
Intel		●				
Broadcom (旧Avago Technologies)				●		●
Macronix			●			
Infineon Technologies	●	●		●		
ルネサス エレクトロニクス	●	●	●	●		
NVIDIA (※)		●				
セイコーインスツル						●
Marvell Semiconductor		●				
TDK						●
Zentel Electronics (※)			●			
Qualcomm (SUMMIT Brand)	●					
Lantiq	●	●				
OSRAM Opto Semiconductors (※)				●		
Rochester Electronics					●	
u-blox		●				
Semtech	●	●				
Silego Technology	●	●				
Tactus Technology						●
Frontier Silicon	●	●				
青電舎						●
エスアイアイ・セミコンダクタ	●		●			

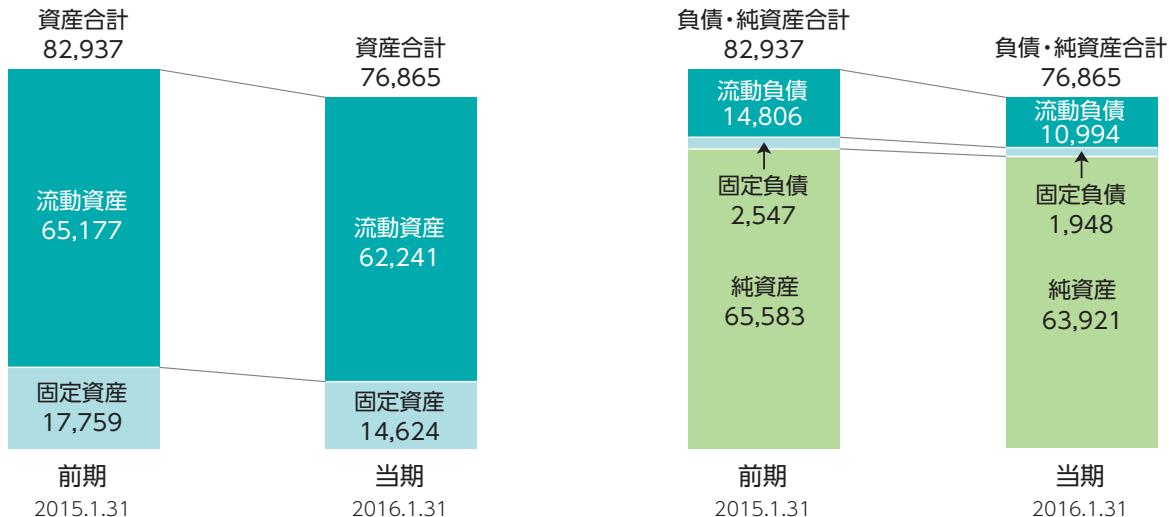
※リョーヨーセミコン (100%出資子会社) 取り扱い仕入先

主要仕入先(ICT)

仕入先名	サーバー パソコン	ストレージ ネットワーク	モニター プロジェクター	プリンター プロッター	ソフトウェア	周辺機器 組込機器
三菱電機			●			●
セイコーエプソン	●		●	●		
TDKラムダ						●
Hewlett Packard Enterprise/HP	●	●		●	●	
京セラドキュメントソリューションズ				●		
Oracle	●	●			●	
Microsoft					●	
ハギワラソリューションズ						●
ダックス						●
NVIDIA						●
サイレックス・テクノロジー					●	●
McAfee					●	
富士通	●	●				
FalconStor		●				
Stratus Technologies					●	
図研エルミック					●	
Empress					●	
Philips			●			

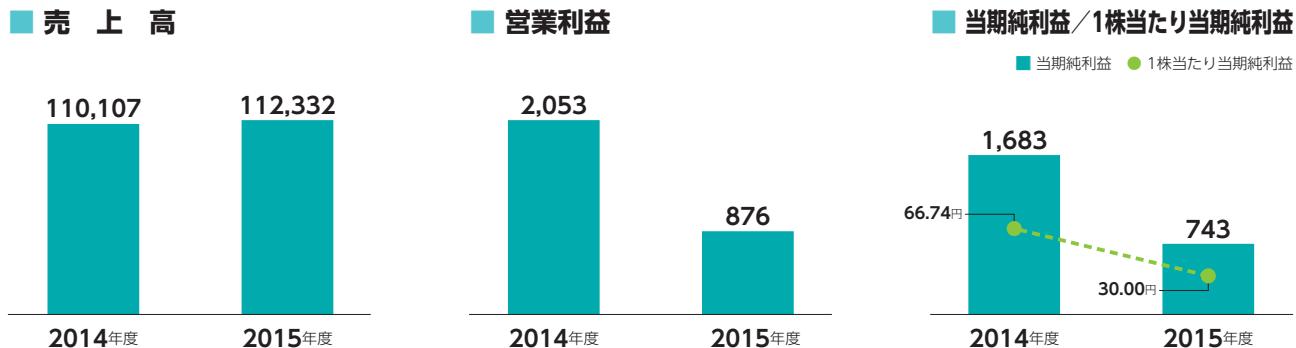
連結財務諸表 (要旨)

連結貸借対照表 (単位:百万円)



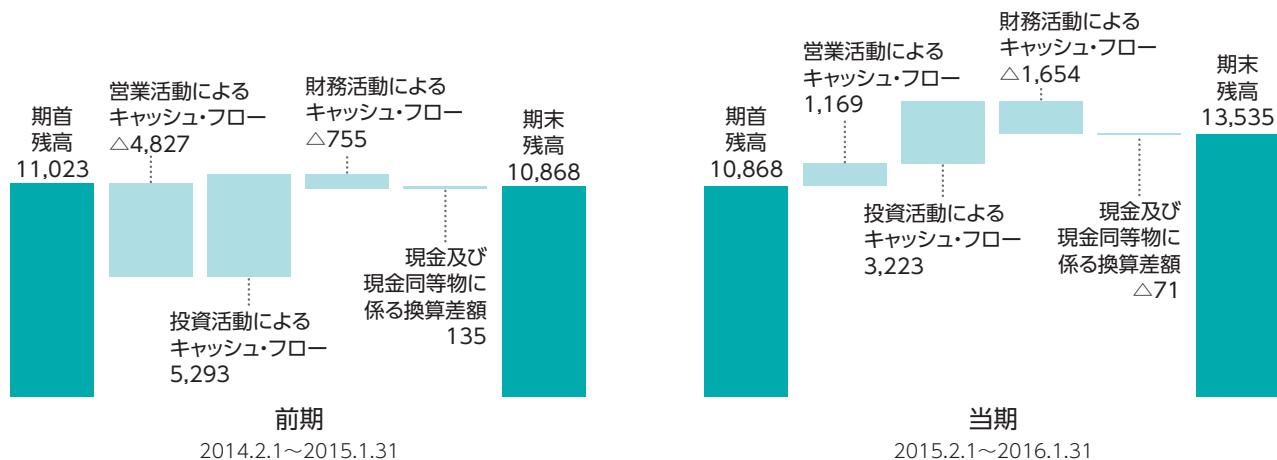
POINT 前期末に寄与した大型案件の終息等により、「受取手形及び売掛金」「商品及び製品」「支払手形及び買掛金」がそれぞれ減少。

連結損益計算書 (単位:百万円)



POINT 売上高については増収を確保も、在庫廃棄損および在庫評価損の計上により、営業利益・当期純利益はそれぞれ前期実績を下回る。

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)



セグメント情報 (所在地別)

■ 日本

パソコン向け半導体やソフトウェアが減少したことにより、外部顧客への売上高は903億89百万円で、前期より3億11百万円 (0.3%) 減少しました。また、在庫廃棄損および在庫評価損を計上したこと等によりセグメント利益は7億21百万円で、前期より11億55百万円 (61.6%) 減少しました。

■ アジア

テレビ機向け半導体や通信機器向け液晶が増加したことにより、外部顧客への売上高は219億43百万円で、前期より25億36百万円 (13.1%) 増加しましたが、在庫評価損を計上したこと等によりセグメント利益は1億27百万円で、前期より60百万円 (32.2%) 減少しました。

(単位:百万円)

■ 日本 □ アジア



会社の概要

(2016年4月27日現在)

会社データ

商号 菱洋エレクトロ株式会社
(RYOYO ELECTRO CORPORATION)

本店 東京都中央区築地一丁目12番22号

設立 1961年2月27日

資本金 136億7,200万円

従業員数 連結：501名、単体：452名
(グループ総人員：596名)
※従業員数は2016年1月31日時点のものです。

役員

代表取締役会長 小川 賢八郎

代表取締役社長 大内 孝好

取締役 菊次 伸夫 小林 賢次郎
田辺 正昭 脇 清

社外取締役 早川 吉春 中原 都実子

常勤監査役 堀切 豊

社外監査役 木村 良二 野辺地 勉
秋山 和美

執行役員

常務執行役員 菊次 伸夫

上席執行役員 小林 賢次郎 田辺 正昭
脇 清 玉越 義紹

執行役員 徳永 琢己

国内・海外ネットワーク



ホームページのご案内

当社のホームページでは、製品案内に加え、IR情報も充実しております。ぜひご活用ください。

<http://www.ryoyo.co.jp>

IR (投資家情報)

The screenshot shows the Ryoyo homepage with the navigation menu. The 'IR (投資家情報)' link is highlighted with an orange circle. Below the navigation bar, there are sections for 'Pick Up情報' (Pick Up Information) and 'お知らせ' (Notice), each containing several news items with dates and brief descriptions.

The screenshot shows the dedicated IR page. The main heading is 'IR (投資家情報)'. Below it, there is a section titled '株主・投資家の皆様へ' (Dear Shareholders and Investors) with a sub-heading 'Investor Relations'. The page features a large image of a hand writing on a document. To the right, there is a vertical navigation menu with links to various IR-related sections. At the bottom, there are sections for '投資家の皆様へ' (Dear Investors) and '株主情報' (Shareholder Information).

株式の状況

(2016年1月31日現在)

- 発行可能株式総数 119,628,800株
- 発行済株式の総数 28,200,000株
- 株主数 5,446名

■ 大株主（上位10名）

株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
1. CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	4,065	16.50
2. 三菱電機株式会社	2,246	9.12
3. エス・エッチ・シー有限公司	2,118	8.60
4. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,671	6.78
5. 株式会社C&I Holdings	1,098	4.46
6. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（リテール信託口）	552	2.24
7. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	547	2.22
8. 株式会社シーブ商会	523	2.12
9. CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	433	1.76
10. 日本生命保険相互会社	409	1.66
合計（1～10）	13,668	55.48

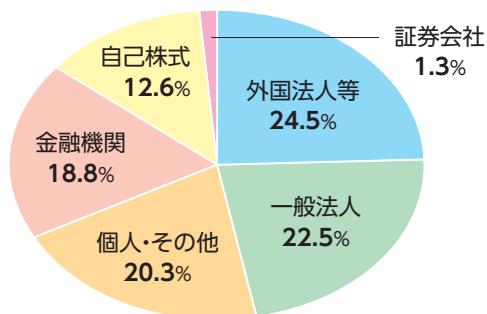
(注) 1. 上記大株主のうち、信託銀行の2行の持株数は全て信託業務に係る株式であります。

2. 上記の他、当社所有の自己株式が3,563,991株（12.64%）あります。

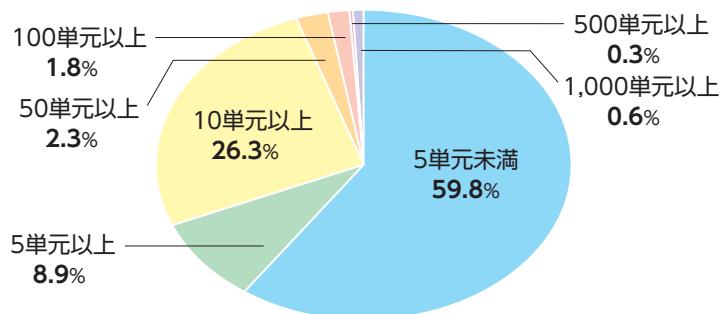
なお、2016年3月2日に600,000株の自己株式の消却を実施いたしました。

3. 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

■ 所有者別株式分布状況



■ 所有株式数別株主数分布状況



株主メモ

- 事業年度 2月1日から翌年1月31日まで
- 定時株主総会 4月
- 株主確定基準日 期末配当 1月31日（中間配当を実施する時は7月31日）
その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
- 上場証券取引所 東京証券取引所第1部
- 証券コード 8068
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
- 単元株式数 100株
- 公告方法 電子公告により、当社ウェブサイトに掲載いたします。
ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、
日本経済新聞に掲載いたします。
<公告掲載アドレス> <http://www.ryoyo.co.jp/ir/public-notice.html>

株式に関するお手続きについて

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増のご請求は、口座を開設されている証券会社にお問合せください。
なお、当社の単元未満株式の買取及び買増請求に係る手数料は無料としております。
(証券会社等で別途手数料が発生する場合がございますので、詳細はお取引の証券会社等へご確認ください)
- 未払配当金のお支払い、特別口座に記録された株式に関する諸手続き、その他株式事務に関する一般的なご質問は、
下記へお問合せください。

お問合せ先 : 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-232-711 (通話料無料)
 (土・日・祝祭日除く9:00~17:00)

菱洋エレクトロ株式会社

〒104-8408 東京都中央区築地一丁目12番22号 (コンワビル)

TEL: 03-3543-7711 (代表) FAX: 03-3545-3507



EMS 576112/ISO 14001
FS 576113 /ISO 9001
IS 511311 /ISO 27001

当社は国内全拠点（サテライトオフィスを除く）において「ISO14001（環境保全）」、「ISO9001（品質管理）」及び「ISO27001（情報セキュリティ）」の認証を取得しております。

UD
FONT



この印刷物は、環境に配慮して「森林認証紙」、「植物油インキ」、「有害な廃液を出さない水なし印刷方式」を採用しています。